

## 囲碁の全国大会では 灘や開成が上位に!

オセロや将棋などに比べ、ルールを知っている人が少ない囲碁。ご父母の中には、「うちの子には難しいんじゃないかしら」「そもそも私がルールを知らないし……」などの不安を感じる方がいることでしょう。しかし、それは杞憂かもしれません。

毎年夏休みに行われている四谷大塚「こども囲碁教室」では、参加者のほとんどが初心者で、中には幼稚園児も。しかし、どの子ども楽しみながら囲碁について学んでいます。

8月10日(金)に取材したお茶の水校舎でも、プロ棋士である長高梢恵先生(二段)がルールの説明を始めると、それまでおしゃべりしていた子どもたちがすぐさま静かになり、説明を聞くことに集中します。子ども同士の対局でも集中力を発揮し、長高先生がルールの理解度をチェックするためのクイズを出すと、ほぼ全員が「はいっ!」「僕、わかった!」「わたしも」と元気良く手を挙げ、自分の考えを積極的に発表していました。

このように囲碁を通して子どもの集中力や積極性が磨かれますが、最も大きな効用は大局観が養われます。



ルール  
①にんじんのうえに1つずつ  
いんぼんにおく  
②なまもつばげ(かべ)をめぐり  
おにわをかく  
③あいてのうまはまわりをかくと  
つかまえられる  
④おけはいばし



1. 囲碁のルールに関する大切なポイント。
2. 囲碁教室で使われた「なるご」。盤面にはニンジンが、右には馬のイラストが描かれ、初心者でもルールを理解しやすい工夫が施されている。
3. 子ども同士で対局しながら理解を深めていく。
- 4・5. 長高先生がクイズを出すと一斉に手が挙がり、指された子はみんなの前で自分の考えを披露する。

学力アップにも役立つ大局観!  
それを養うのに最適なのが囲碁

四谷大塚 × 日本棋院 共催

# 四谷大塚 「こども囲碁教室」を開催!

8月10日(金)、11日(祝・土)、12日(日)の3日間にわたり開催された四谷大塚「こども囲碁教室」は今年も大盛り上がり! 大局観や集中力を伸ばす囲碁に熱中する子どもたちの様子取材してきました。

写真/アーク・フォト・ワークス(清水亮一)

この力は学習にも役立つと言われています。2018年の全国高校囲碁選手権全国大会において男子団体では灘(優勝)や開成(3位)、女子団体では白百合学園(4位)や豊島岡女子学園(5位)などが上位に入っていることは、囲碁が学力アップにつながる証しと言えるでしょう。

四谷大塚では、今後も子どもたちの成長を促す機会として囲碁教室を定期的に開催する予定です。毎年、幼稚園児(年中生)から小学5年生まで幅広い年齢層の子どもたちが参加しており、プロ棋士をはじめとしたスタッフが基礎から丁寧に指導します。当日は、馬とニンジンのイラストが描かれ、囲碁のルールがすんなりと理解できる「なるご」を使用するため、初心者の子でも何ら心配はありません。囲碁に興味のある親子は、ぜひ一度、体験してみてください。

## 参加者の声

海老澤 そらさん(3年生)

将棋が好きで、四谷大塚の将棋教室にも参加しました。今日は囲碁のおもしろさもわかったので、両方続けていきたいです。

伊井澤 雛里さん(1年生)

先生がわかりやすく教えてくれたので、囲碁のルールが理解できました。先生が出したクイズも正解できたし、ほかの子との対局も勝てた!

佐藤 匠くん(1年生)

学童でちょっと遊んだことがあるけど、囲碁についてちゃんと教わったのは初めて。ほかの子との対局は負けちゃったけど、楽しかったです。

